

## “通り”から“ひろば”へ ～旭川買物公園から考えるパブリック空間の未来～ ／地域を活かす建築家のファシリテーション

1972 年に日本初の恒久的な歩行者専用道路として誕生した旭川買物公園。開設から半世紀が過ぎ、暮らしや働き方、まちの使われ方が大きく変わる今、歩行者優先の“通り”として親しまれてきたこの空間は今、人々の多様な活動を受け入れる“ひろば”へと、新たな変化の時を迎えています。

本シンポジウムでは、パブリック空間のビジョンづくりに詳しい三浦詩乃氏(中央大学)と建築まちづくりに詳しい連建夫氏(JCAABE)による基調講演、さらに実践者の四戸秀和氏、佐々木司氏、旭川市の担当職員を交えたクロストークを展開します。

これからのまちの賑わいや居場所づくり、公共空間の可能性について、買物公園の歩みと未来の姿を重ね合わせながら、参加者の皆様とともに議論し、それらを手掛かりに住民参加のまちづくりにおける地域を活かす建築家のファシリテーションについて考えます。

●開催日時 11 月 27 日(金)18:00～20:00

●ZOOM ウェビナー方式

URL:<https://us06web.zoom.us/j/85980453300?pwd=ampaCPHQMpT9pBZFmxFCboZzpF9PCC.1>  
ウェビナーID:85980453300 パスコード:166605



●参加無料

●プログラム

### 【基調講演 1】買物公園エリアプラットフォームー3 年間とこれから



三浦詩乃 (中央大学社会理工学術院准教授)  
(プロフィール)

博士(環境学)(東京大学、2015 年)。2024 年より中央大学理工学部准教授、2025 年より学長補佐(キャンパス整備・SDGs)。一般社団法人ストリートライフ・メイカーズ共同代表理事。ストリートデザイン・マネジメント、ウォークブルシティ、プレイスメイキングを専門とする。

### 【基調講演 2】まちづくりファシリテーターとは何か



連建夫 (JCAABE 日本建築まちづくり適正支援機構代表理事)

建築家・JIA フェロー、東京都立大学大学院修了、建設会社 10 年勤務の後、1991 年渡英、AA スクール留学、大学院優等学位取得の後、同校助手、在英日本大使館嘱託を経て、1996 年帰国、建築設計の傍らまちづくりに関わる。港区登録まちづくりコンサルタント、作品:荻窪家族レジデンス(グッドデザイン賞)等、著書:「心と対話する建築・家」「イギリス色の街」共著:「建築系のためのまちづくり入門」等

### 【クロストーク】

基調講演者に加えて下記の登壇者をお迎えします。



四戸秀和  
(まちにち計画)



佐々木司  
(アイエイ研究所)

旭川市都市振興部  
都市計画課

●主催:JIA まちづくり会議・JIA 関東甲信越支部建築まちづくり委員会

●協力:JCAABE 日本建築まちづくり適正支援機構